

## 研究の経緯及び研究計画

### ( 1 ) 研究の経緯

本研究部は、平成 1 1 年度に関プロ茨城大会にて「生徒一人一人が自分らしさを生かし、生活に生きていく力を身に付けていく学習のあり方」を研究主題として県内 5 つの各ブロックにおいて研究を進め成果をおさめた。翌平成 1 2 年度より継続して「生きる力をはぐくむ技術・家庭科教育」を研究主題として、関プロ茨城大会で基盤ができた各ブロック、都市単位で研究を推進してきた。

平成 1 2 年度は新学習指導要領にスムーズに移行できるよう「創意工夫した指導計画の改善」を中心に研究を進め、指導計画集を発行した。そして平成 1 3 年度は、時数の削減や学習内容の改訂に向けて「新教育課程に対応した題材の研究・開発」を中心に内容構成や履修方法の改善、内容の厳選についての研究を進め、題材集を発行した。平成 1 4 年度は相対評価から目標に準拠した評価いわゆる絶対評価へと評価観が転換したことを受けて「学習指導に生かす評価の工夫」を研究の柱として取り組んだ。評価規準表の活用や評価方法、総括の方法等についての研修を行い、各都市で行われた評価活動についての実践事例を C D - R に集録し、全県に配布した。各学校においても絶対評価のもとで試行錯誤しながら実践を進めたが、アンケート調査からは、多くの課題が見つかり、指導と評価の一体化をはかるまでは至っていないことが伺えたため、平成 1 5 年度も継続して学習指導に生かす評価の工夫についての研究を進めた。平成 1 4 年度より相対評価から目標に準拠した評価、いわゆる絶対評価へと評価観が転換したことを受けて、2 年間にわたり「学習指導に生かす評価の工夫」を研究の柱として取り組んできた。平成 1 6、1 7 の両年度は、生徒にその学習を通してどのような力を付けるかという学習のねらいを明確にした授業づくりをテーマに、各都市の研究推進委員が中心となり、評価規準表の活用、指導と評価の一体化などを検討の上、実際に指導案を作成し授業実践がなされてきた。

また、この間、県内の 5 ブロックを 2 年ごとの研究重点地区に指定し、それぞれのブロックでの以下のような研究成果を毎年の関プロ大会にて発信してきた。

- ・ 評価方法の工夫
- ・ G T の活用
- ・ デジタルポートフォリオの活用
- ・ 題材の開発
- ・ 小学校との連携
- ・ 3 年間を見通した教育課程の工夫改善

(2) 研究計画

年 度	研 究 主 題	推 進 計 画	実 践 内 容	研究の進め方	研究協議会	そ の 他
平成18年度	よりよい生活者を育む学習指導の在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関プロ茨城大会に向けての研究組織づくり</li> <li>・ 「研究の基本方針」の検討及び「方向性」の決定</li> <li>・ 各ブロックで共通に研究を進める部分の提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実態調査</li> <li>・ 指導計画・評価計画の作成</li> <li>・ 題材の選定</li> <li>・ 「研究の基本構想(第1集)」のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究テーマを設定するための委員会設置</li> </ul>	中央ブロッ	〔埼玉大会〕 生徒の学びを高め、生活する力を伸ばす学習指導の研究
平成19年度		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各研究部の組織づくり</li> <li>・ 活動計画の確認</li> <li>・ 研究発表校、授業者、提案発表者等の決定</li> <li>・ 各領域の助言者仮決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究授業の実施 (導入の工夫 学習課題のつかませ方 問題解決的な学習 支援の手だて ワークシートの活用 評価など)</li> <li>・ 実態調査</li> <li>・ 「研究の基本構想(第2集)」のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各ブロックごとの研究テーマの設定</li> <li>・ 領域別内容の検討</li> </ul>	県西ブロッ ク 全ブロック	〔新潟大会〕
平成20年度		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究推進の組織の確認</li> <li>・ 関プロ茨城大会の運営に関わる組織づくり</li> <li>・ リハーサルに向けての準備開始</li> <li>・ 分科会の公開授業リハーサル</li> <li>・ 分科会の提案発表リハーサル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実態調査</li> <li>・ 研究授業(前年度に加えて教室環境なども整えていく)</li> <li>・ ブロック別研究協議会</li> <li>・ 各領域毎の研究協議会</li> <li>・ 「研究の基本構想(第3集)」のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分科会ごとの研究</li> <li>・ 各領域間の調整及び共同研究</li> </ul>	全ブロック	〔長野大会〕
平成21年度		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究推進の組織の確認</li> <li>・ 全体会, 分科会準備及び運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公開授業・研究発表会</li> <li>・ 大会要録発行</li> <li>・ 大会集録のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分科会毎の研究</li> <li>・ 共同研究</li> </ul>	全ブロック	第48回関プロ技術・家庭科茨城大会